

どがなかな 木田市です

大田市ふるさと情報誌

VOL.43

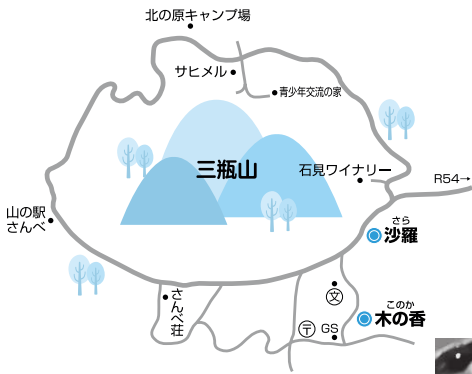
2019.10

日本海と夕日を背に 大迫力の海神楽!!

温泉津町福光にて
海神楽2019が開催されました



大田市内 三瓶そばマップ



アナゴの白焼き



あなご寿司

これからの時期おいしい 大田の特産品を紹介しします!!

新鮮で肉厚な「大アナゴ」

みなさんは大田市内で獲れる「大アナゴ」をご存知でしょうか？大田市民でもピンと来ない人が多いですが、大田市は全国有数のアナゴの産地なんです。平成29年には鳥根県がアナゴ類の漁獲量日本一となっており、さらにその半分近くが大田市で水揚げされています。驚愕ですよ。

大田市で獲れるアナゴの特徴は、伝統漁業「一日漁」で獲れる新鮮さです。早朝に港を出て、近海で獲れた魚をその日の夕方に水揚げする漁の形態を言います。実はこの伝統的な漁が行われているのは大田市と東北の一部だけです。大田市で獲れるアナゴの価値がお分かりいただけただけでしょうか。

そして大アナゴというだけありその大きさにも注目して頂きたいです。全長約50センチもの特大で肉厚な身には、しっかりと脂がのっており、べっぴんは十分。一般的なアナゴと比べて2〜3倍の厚みがあります。

アナゴはたんぱく質が豊富でビタミンAなどを含み夏バテなどにも効果があります。なんだからうなぎみたいですね。実は地元の漁師さんほうなぎを食べる代わりにアナゴを食べるとも言われているそうです。またアナゴをへか焼き(※)にして食べることもあるそうです。



一日漁で水揚げされた新鮮なアナゴ

大田市内でアナゴが食べたい！道の駅ロード銀山で食べることが出来ます。オスメはふつくらあなごを1匹丸々使ったあなご寿司です！ボリューム満点でインスタ映えも狙えるかも。他にもあなご天丼や鰻丼ならぬあなご丼といったメニューがあります。アナゴって色々な食べ方が楽しめますね。スーパーでアナゴをみかけたら「大田産」かぜひチェックしてみてください。



あなご天丼



あなご丼

淡い細麺「ツルツ」としたのと越し「三瓶そば」



淡い色が特徴の三瓶そば

いれば一度は耳にしたことがあるのではないのでしょうか。三瓶山周辺は江戸時代からそばの栽培が盛んでした。しかし昭和中期には担い手が減少し、三瓶そばも衰退していききました。近年では三瓶そばの普及に力を入れており「さんべそば推進会議」が開催されるなど、再び三瓶そばが注目を浴びています。

三瓶周辺には三瓶在来種のそばが存在しており、寒暖の差がそばの栽培に適しているのです。9月頃にはそばのちいさな白い花が一面を覆います。11月にはそばの実が収穫でき、新そばの時期を迎えます。これからはそばの美味し時期なんです。

三瓶そばの特徴は、淡い細麺とツルツとしたのと越し。その秘密は製法にあります。そばの実をそのまま挽く出雲そばとは対照的に、三瓶そばは実の皮をむいて挽くため淡い色と、爽やかなのごしがうまれます。そこに同じ三瓶山で取れたわさびを薬味として添えることとツンとした辛味が三瓶そばの美味しさをいっそう引き立てます。

つづいて紹介するのは、そばです。そばが好きなのは多いと思いますが、日本三大そばが全ていえますか？長野県の「戸隠そば」、岩手県の「わんこそば」、そして鳥根県の「出雲そば」です。鳥根県には出雲そばの他にも、奥出雲そば、隠岐そばがあります。そして大田市にあるのが三瓶そばです。大田に住んで



手打ちでつくられる三瓶そば
店ごとの味を楽しめます



三瓶山ふもとのそば畑、そばの花も美しい

祝日本遺産 石見神楽



三瓶山神代神楽社中
いんべやまのついでにいんべ

設立 1897年頃 (奥飯石流三瓶系神楽) 所在地 大田市三瓶町志野
市内唯一の神代神楽。地元の小中高生が多く在籍し活動



宅野神楽団
たきのがくぞらだん

設立 2012年 (奥飯石流三瓶系神楽) 所在地 大田市仁摩町宅野
宅野子ども神楽OBが中心。伊勢大神楽や上方歌舞伎の影響も



宅野子ども神楽保存会
たきのこどもかぐぞらけんかい

設立 1760年頃 所在地 大田市仁摩町宅野
270年の歴史。小中学生が正月に行う。大田市無形民俗文化財



多根神楽団
たねのかぐぞらだん

設立 明治中期 (奥飯石流神楽) 所在地 大田市三瓶町多根
六調子の優雅な舞。七座七種の能舞18番。大田市無形民俗文化財



土江子ども神楽団
つちまこどもかぐぞらだん

設立 2000年 (奥飯石系神楽) 所在地 大田市長久町
正月の仮屋行事として約300年の歴史。創作演目や海外公演も



石見神楽温泉津舞子連中
いんべかぐぞらのおまゐりにいんべ

設立 1997年 (浜田系八調子神楽) 所在地 大田市温泉津町
石見神楽のなかった温泉津町で結成



大江高山神楽社中
おほえかみかみかぐぞらけんかい

設立 1948年 (浜田系八調子神楽) 所在地 大田市大代町
神楽好きの子供たちへの指導により市内各地から参加がある



大屋神楽社中
おおくやかぐぞらけんかい

設立 1864年 (奥飯石系石見神楽) 所在地 大田市大屋町鬼村
出雲神楽と石見神楽の折衷的舞「オペラ石見銀山」に出演



忍原地頭所神楽団
おしのちがくぞらけんかい

設立 2016年 (広島系八調子神楽) 所在地 美郷町小松地
川合町の忍原神楽団と美郷町の地頭所神楽団が復活



刺屋神楽団
さやがくぞらだん

設立 1979年 (奥飯石流六調子神楽) 所在地 大田市久手町刺屋
奥飯石流の優雅な六調子の舞を継承し、地元中心に活動

大田市の神楽(これがら)で盛り上げていけばいいでしょうが、「昔からの神楽の伝統を大切にしながら、今のことを考えていく必要があります。神楽はもともと地元のお宮の祭りで氏子さんたちが舞って、地元の人たちが喜んでいました。今でも元々の神社の例大祭での神楽奉納は大切にされていますが、神楽と観客の距離の近さ、あのお宮の雰囲気を守っていかないといいないと思います。」

一方で観光協会が立ち上げた「大田市版DMO」の中で神楽のワーキンググループができ、時代のニーズに応えていく必要もあります。パリエーションが豊富という大田市の神楽のよさが、観光で来た方にも伝わる工夫をしたいですね。」

温故知新、ダイナミックに進化を続ける石見神楽に今後目が離せません。近年では瀬戸内高校に石見神楽部ができ活発に活動を行い、温泉津の福光海岸で開催される「海神楽」が話題を呼び、オペラ「石見銀山」が東京文化会館で上演されるなど新たな動きができています。大阪では今年4月に石見神楽なにわ館が誕生、東京では石見神楽東京社中が活動しており県外でも観る機会が多くなりますのでぜひご覧ください。

「大田市の神楽は、一言で「神楽」といっても舞が全然違うんです。浜田系、出雲系、広島系、奥飯石系など市内に様々な系統の神楽があるのが特徴ですね。」

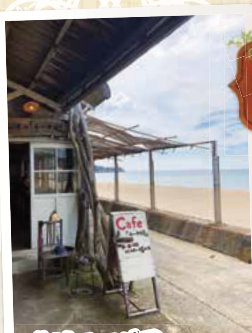
石見銀山神楽連盟はどういった活動をしていますか？

「メインは年に1度の神楽公演「白銀の舞」の開催です。もともと交流があまりなかった市内の団体が集まって公演をしてみよう、というところから、連盟自体が発足しています。このほか定期公演をしたり、公演依頼を受けたりしていますね。連盟で出演依頼を受けて県外に行くこともあります。その際は各神楽団に声をかけてメンバーを集めるのですが、舞が似て違う大田市では事前に練習をしておかないと上演できません。で

「日本遺産」は地域の歴史的魅力や特色を通して我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」として文化庁が認定するものです。令和2年度までに100件が認定予定で、大田市では「火山からの贈り物」・「石見銀山街道を往かた」の日本遺産認定を目指しています。

石見銀山神楽連盟で大田市の石見神楽を紹介するウェブサイトができました。ぜひご覧ください。
<https://sites.google.com/view/wankagura/>





チーナカ豆

ちーなかめ

☎080-4261-6178

仁摩町馬路
時間/11:00~夕暮れごろ
定休日/月曜日、火曜日
水曜日

※4月~10月のオープンとなり冬季は休業しております。

馬路でマジでインスタ映え

琴ヶ浜まで歩いて5秒。春から秋のシーズンは浜とお店の間の防砂壁が外されて、琴ヶ浜が一望できます。最高の景色を見ながら癒しの一時を。



▲旧中学校の廃材を利用して海の家を改装したんです

▲晴れの日×海=最高

国指定天然記念物や、琴姫伝説で有名な琴ヶ浜を一望できます。運がよければイルカの群れに遭遇できるかも。そしてこの琴ヶ浜は、日中と夕方ではまた違った表情を見せてくれます。沈む夕日を見ながら波の音に酔いしれたいですね。9月に行われた夕暮れコンサートにもチーナカ豆は出店しました。オススメはボリュームたっぷりのBLTサンドと、大田市で取れた果物のシロップをたっぷり使ったかき氷です。



Café Asbach

アスバッハ

☎0854-84-7500

久利町209
時間/12:00~00:00
定休日/月曜日

※閉店時間は曜日によって変わります。

お隣の横にある隠れ家カフェ

細い道を進んだ先にあるログハウスの建物。店内は心地よいリズムのジャズミュージックが流れており、おしゃべりなオヤジが笑顔で迎えます。



ウッディーな内観で落ち着いた雰囲気です。夜はアルコールも提供しています。



音楽好きのマスターが営む隠れ家カフェ。店内には色々な楽器が置いてあります。ジャズが流れており、音楽好きじゃないと入店を拒まれるのかと思いきや、決してそんなことはありません。全てはマスターの趣味なのです。ジャズミュージックを売りにしている訳ではありませんが、噂を聞きつけた全地のジャズ愛好家が訪れるそうです。マスターと交わす熱いトークが楽しめます。



STAY&CAFÉ WAMOTO

ワモト

☎0854-86-8968

静岡町287-1
時間/10:00~18:00
定休日/木曜日

港町に馴染んだ佇まい

数年前にUターンした方が営むカフェ。漁を終えた漁師さん達の憩いのスポットになりました。民泊も経営されており、県外から来る方も多いそう。皆さん共通して和江の雰囲気を気に入りられるのだから。



特製ハンバーガーと、目の前で焼いてくれるふわふわのワッフル



どこか懐かしい感じの外観！「島根にないものを」と言うのがお店のコンセプト。窓からは和江の港が一望できます。少しずつメニューも増やしており、今後も期待大です。お会計はPayPayに対応。



震湯カフェ 内蔵丞

くらのじょう

☎0855-65-4126

温泉津町温泉津7
時間/11:00~17:00
定休日/木曜日

銀を精み出した街で 大正ロマンを味わう

石見銀山の銀を運び出した港町。ここにも洒落たカフェがあります。温泉津に現存する最古の温泉施設で、「よみがえる建築遺産」に選ばれている。



▲床・柱・天井すべてにかつての名残が詰まっています。釘を1本も使っていない組み込み式の天井が見事

江戸時代のご馳走「奉飯」と内蔵丞カレー

温泉津の温泉街にこんな場所が?!と思うほどロトロな建物。そこで振舞われるのが江戸時代から伝わる奉飯です。銀山の歴史にまつわる食糧危機の時にサツマイモで救われた大森や温泉津。その頃に薩摩から伝わったと言われてます。そして蒸籠の中には季節の野菜がたっぷり。なんと源泉で煮ているのだそう。他にも薔薇の花びらだけの薔薇茶(ローズティー)やシフォンケーキもおすすめです。



doma cafe

ドマカフェ

☎0854-83-3235

三瓶町志学ロ349
時間/11:00~18:00
営業日/主に土曜日、日曜日

※冬季は休業しております。営業日はフェイスブックまたはインスタグラムにてご確認ください

温泉で有名な三瓶町志学にある古民家カフェ。原っぱや温泉だけではなく癒しがここにはあります。ドマメニューの作り方を教わるドマスクールも好評です。



自家製ザッハルトは是非食べて欲しい一品

三瓶の山間にひっそり佇む古民家カフェ。外観が古民家のためカフェに気づかず通り過ぎてしまいがちそう。店内に入るとまずは土間がお出迎え。さすがドマカフェというだけではありません。一押しメニューは自家製ペーグルのサンド。焼きたてはいい香りですがぶりつきたくなります。ドマカフェで提供しているメニューの料理教室も好評で、ペーグルやザッハルトを実際に作ることができます。



cafeste Yo-hen

ヨーヘン

☎090-4698-9850

温泉津町上村40-3
時間/9:30~17:00

※カフェの営業日はLINE公式アカウント、フェイスブックページをご確認ください。

辺境の地でひっそり営むカフェステ

カフェステとは「カフェ」+「エステ」の造語。メインはエステですが、月に1回の頻度でカフェイベントもおこなっています。知る人ぞ知る癒しの空間です。



「この道で合ってるの?」少し心配になりながら車を走らせると、小高い丘の上に洋風の建物が見えます。

店主は温泉津町の出身。温泉津女子会メンバーの一員としても様々なイベントを行い地域を盛り上げてます。エステのオススメはヘッドスパ。また月に1回開催するイベントにも注目です。カフェイベントではパスタやスイーツも提供されます。



ZUIENT

スイエント

☎0854-89-0879

大森町イ490
時間/10:00~18:00
定休日/不定休
テイクアウトも可能

世界遺産の町並みを散策しながら

代官所広場にお店を構えるZUIENT(スイエント)。店内は白を基調としたオシャレな雰囲気。こだわりのイタリアエスプレッソが楽しめます。



自慢のエスプレッソラテアートとスイーツが楽しめます

マスターは地元を愛する大森出身のUターン者。こちらではイタリアのサトルノコーヒーを味わうことができます。ZUIENTとは随縁という言葉が由来で、なにより縁を感じてもらうのがお店のようす。お客さん同士でカップルになられた方もいるとか、身近な縁結びスポットです。

最高の一杯を求めて 大田市内カフェ

大田市内でのカフェ特集です!気になるお店や、存在は知っているけど入ったことないお店などあるのではないのでしょうか?この特集を見て足を運んでもらえたら幸いです。今後のカフェ特集第2弾もお楽しみに!



- STAY&CAFÉ WAMOTO 静岡町
- ZUIENT 大森町
- Cafeste Yo-hen 温泉津町
- Café Asbach 久利町
- チーナカ豆 仁摩町
- doma cafe 三瓶町
- 震湯カフェ内蔵丞 温泉津町

大田市の「ならいごと」特集

じつは小学生向けのこんな教室があるんです



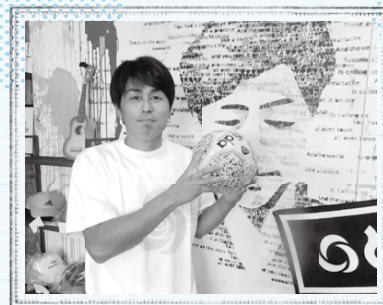
生まれ育った町の
活性化をした

2017年2月、シヨップ兼
ギャラリーをオープンさせた大
畑さん(本姓:三谷)。音楽教
室を営む両親の影響もあり、感
性豊かに幼少期を過ごした。
高校生の頃に絵画の道を究める

地域と繋がる。 子どもと学ぶ。

「絵画教室」

Rope 大畑 蘭



スポーツを始める きっかけを。

「フットサルスクール」

D-JLFC 寺本 祥彦

新しいことへの挑戦

仁摩小学校で年長から小学3
年生を対象にフットサルスクー
ルを行っている寺本さん。同じ
思いを持つ仲間と、地域を巻き
込んで常に新しいことにチャレ
ンジしています。

フットサルスクールを 始めたきっかけとは

子ども達にスポーツを慣れ親
しんで欲しいという思いから、
自身がプレーしていたフットサ
ルなら、気軽にスポーツに触れ
てもらえると考えスタートさせ
ました。しかしながら、フット
サルに縛られないと言っている
のスクールの面白いところ。3
年生までが通うことができます
が、4年生になって、野球や柔
道といった他のスポーツを始め
るもよし、もっとフットサルを
やりたいと言うならば上級生向
けのフットサルスクールに行く
のもよし。とにかく競技の種類
にはこだわりません。まずは小
さなうちからスポーツを身近に
感じて欲しい、だけど何のスポ
ーツから始めていいのかわか

らないといった子ども達への、
自由な選択を与えてあげられ
場なのです。

人と人をつなげる

寺本さんはフットサルスクー
ルだけではなく様々なイベント
も考案しています。7月には、
大田総合体育館のリニューアル
オープン記念事業「大田市ファ
ミリーフットサル交流大会」を
企画し、約300人が参加した。
盛況のイベントとなりました。
寺本さんのチャレンジに終わ
りはありません。今年の、七夕
の日には大田市駅前に、sports
shop(paraiso、パライソ)をオー
プン。店名はポルトガル語で楽
園を意味します。スポーツを通
じて色んな人が出会い、交流で
きる場にしたという思いで
オープンしました。フットサル
用品だけではなく様々なスポー
ツに対応したものを置いていま
す。中高生でも、お小遣いの範
囲で気軽に購入してもらいたい
と考え、価格設定は抑えめ。た
くさんの人に気軽に来てもらえ
るお店を目指しています。

子どもと考える時間が大切

絵画教室を営むのは大畑さん
とご主人の三谷信介さんです。
現在、絵画教室に通うのは大田
市内の子も達10数名。子ども
達からは「らんちゃん」の愛称
で呼ばれており、子ども達との
距離も近い様子です。ここでは
絵が上手い下手ではなく、楽し
んで絵を描いてもらうことを重
点に置き、教室を行っています。
そして子ども達の考える時間
をととても大切にしています。あ
る日を例に取ると、「オリジナル
のお札を描いてみよう」と
テーマを決め、どんなお札にし
ようかと自由に考えます。とて
もカラフルなお札、動物が描い
てあるお札など多種多様。子ど
も達のイメージを膨らませるそ
の時間が大切なんだそう。

地域への参加も積極的に

子ども達と一緒に地域へのイ
ベントにも参加します。今年の
天領さんでは、大迫力の龍の山
車を披露しました。秋の彼岸市
「中日月あん」ではオリジナル
グッズの販売やスライム制
作などを行いました。これらも
全て子ども達によるアイデアが
元になっています。自分たちが
プロセスを組み立てて実行すれ
ば、成功したときの喜び・達成
感もひとしおです。

教室を通じて

子ども達にも変化が
教室での様々な活動を通して
子ども達にも変化があったと大
畑さんは言います。自分の描く
絵に自信が持てなかった子ども、
「大丈夫できるよ」と声をかけ続
けたところ、自信を持って絵を
描けるようになったそうです。
なんと教室内の年間アワード
も受賞してしまうくらい上達し
たとのこと。驚きですよね。
大人も子ども達から学ぶこと
が多いそうです。ローカルな環境
で子どもを育てることは大変だ
けど、都会にはないものがたくさ
んある。自分が探した分だけ見つ
かると大畑さんは考えます。



瓶 陵 会



大田高校の卒業生会である「瓶陵会」は、会員数が2万5千人を超え、毎年8月に開催される総会では、記念イベントを行うなど、熱心に活動されています。同事務局のある大田高校でお話を伺いました。

◆瓶陵会とは

「瓶陵会」(会長:中村俊郎)は、大田農学校(明治創設)、旧制大田中学校(大正創設)、旧制女学校(大正創設)、そして大田高等学校の卒業生からなる卒業生会です。

◆瓶陵会の活動

「瓶陵会」の活動は大きくわけて4つあります。
1つ目は「瓶陵会報」の発行です。毎年発行する「瓶陵会報」は卒業後5年目から会員の手元に届くようになります。会報は校内の瓶陵会員が編集し、兵庫県の専門業者(株)サラト)に依頼し作成、発送しています。
現在の大田高校の様子や総会や各支部の様子もわかることから、皆様が発行を楽しみにしておられます。
2つ目は瓶陵会総会の運営です。毎年お盆の頃に瓶陵会の総

会があります。その際、当番幹事として催しものを企画・実行するのが、卒業後30年経った同学年の同窓生です(令和2年度は平成2年3月卒業生)。今年も8月14日にサンレディー大田で総会、記念イベントを行い、その後、大田パストラルに移動して懇親会、同窓会を行いました。



3つ目は会員名簿の発行です。「瓶陵会」では、5年に一度、会員名簿を発行しています(直近では平成30年度に発行)。発行のための調査は、「瓶陵会報」

と同じ専門業者と契約し、きちんと「瓶陵会」と名乗って実施しています。(契約業者以外の勧誘があった場合は、相手にしないでください。)



4つ目は支部活動です。地元はもちろん全国各地にそれぞれ場で活躍している先輩方がたくさんいます。県外には、関東支部、近畿支部、東海支部、山陽支部があり、各支部で活動を行っています。特に関東支部には理数科の研修旅行でお世話になっています。

◆100周年にかかわる募金のお願い

大田高校は令和3年に創立100周年を迎えます。この100年の中でいくつも改称や合併を繰り返しており、変わったことも多々あります。しかし、本校で青春を謳歌する生徒の姿は

100年前も令和の今も変わりません。
この生徒の姿を次の100年に繋ぐべく、祝賀式典や校史の編纂、部活や学習環境の改善など様々な事業を計画しています。
大田高校の歴史を振り返るとともに、在学生の学校生活をより充実させ、本事業を成功させるためにも、皆様のご厚意を待ちしています。



【金額】

個人5,000円|法人10,000円(できるだけ多くのご芳志をお願いいたします)

- 卒業生のお名前で(ご家族の方等が振り込まれる場合も)お振り込みください。
- 通信欄に卒業期、または卒業年度をお書きください。

ゆうちょ銀行

【口座記号番号】01350-4-108013

【口座名称】島根県立大田高等学校創立百周年記念事業実

他行からのお振り込み

【店名(店番)】一三九(イチサンキュウ)店(139)

【預金種目】当座

【口座番号】0108013

※他行等から上記口座へのお振り込みの場合は上記内容をご指定ください。

※振込手数料は差し引いてご入金ください。

【お問い合わせ】瓶陵会事務局 島根県立大田高等学校
住所:大田市大田町大田イ565
TEL:0854-82-0750 FAX:0854-82-1333

シリーズ 石見銀山^{④3}

県指定史跡金森家主屋の保存修理工事竣工

平成31年3月、島根県指定史跡「石見銀山御料郷宿泉屋遺宅金森家」の保存修理工事が、4年の歳月を経て竣工しました。金森家は、かつて泉屋川北家が石見銀山御料の中心地として栄えた大森町で、酒造業を営みながら町年寄や郷宿などをつとめた商家です。屋敷規模もさることながら、嘉永3年(1850)建築の主屋は大森町で最大の商家である重要文化財熊谷家住宅に次ぐ規模を誇る建物で、昭和49年には島根県指定史跡に指定されています。

築後約170年が経過した主屋は、シロアリによる蟻害がひどく柱や梁の腐朽が確認されたほか、建物が大きく傾いた状態であったため、保存修理工事は屋根瓦や土壁、一部の柱や梁を解体する「半解体修理」により行われました。解体中には、柱の柄(ほぞ)や足元に書かれた「柱番付」も確認でき、棟札や板図(建築当時の設計図)から建築当初の構造・規模が良好に残っていることが明らかになりました。

また、保存修理工事にあわせて行われた各種調査でも様々なものがみつかりました。発掘調査では宝永3年(1703)に建てられたとされる前身建物の遺構や、地鎮具、酒造の釜場などが発見されました。また襖の裏貼りには約900点もの古文書が確認され、17世紀前半の石見銀山に関する文書もみつかると、今後の調査研究が待たれます。

平成の大修理が完了し、令和の時代へと受け継がれた金森家。竣工後は住まいとする傍ら、大森町での催しにあわせて内部が一般公開されるなど、石見銀山の歴史を物語る文化財のひとつとして、その役目を果たしています。

※金森家の保存修理工事は島根県、大田市及び、石見銀山基金の補助金を活用して実施されました。

竣工後の金森家主屋



【お問い合わせ先】 大田市役所石見銀山課 ☎0854-83-8133

大田市は、ユネスコの「平和と人権尊重」の精神に基づき、世界遺産「石見銀山遺跡とその文化的景観」の保全と活用をすすめています。

第71回 全国植樹祭しまね 2020 開催日の決定について

令和元年8月7日に開催された公益社団法人国土緑化推進機構(理事長 佐々木毅)の令和元年度第1回通常理事会において、第71回全国植樹祭の開催日が令和2年5月31日に正式決定されました。

また、植樹祭への一般参加者を募集しています。募集期限は11月29日までとなっております。申し込み方法は公式ホームページをご覧ください。

【お問い合わせ】
大田市役所産業振興部森づくり推進室
☎0854-83-8178

大田市観光PR動画 「フニクリ・フニクラ大田市版」が完成



動画リンク
QRコード

オペラユニット・ザ・レジェンドが歌う観光PR動画が完成しました。市の魅力が詰まった歌詞になっています!大田市公式Youtubeチャンネルにて公開中です。

【お問い合わせ】
大田市役所産業振興部観光振興課
☎0854-88-9237



気に入ったわ大田市!!

～ゼロからはじめるガラス工房～

ふるさととは
今

ガラス作家
垣内信哉さん



2019年1月頃、ひとりの男性がまちづくり定住課を訪れ、こう相談しました。「島根でガラス細工を作る仕事をしたいんです！」

耳を疑いましたが、半信半疑で話を聞くうちにこの人は本気だと確信。まずは住まいを探すことに。大屋町にある、空き家バンクに登録されていた物件を案内したところ、「まさに思い描いていた所だ。気に入った！ここに決めます！」と、即決されました。

その方は京都府出身の垣内信哉さん。もともと京都でガラス作家の職に就いており、腕は十分でした。島根でガラス細工ができる地を求め、安来、松江、雲南、出雲を巡りましたがどこもダメ…。もう島根では出来んかもしれへ

ん」そんな諦めの気持ちが出掛けていたとき、訪れたのが大田市だったのです。

住居を手にしたのは5月末、それから約1ヶ月間で自分の住める環境と、仕事のできる環境を整え、なんとかガラス工房をスタート。しかし、工房とは言えど、柱は鋼管、屋根はトタン、壁はビニールシートと、工房と呼ぶには不十分な環境です。「仕事が軌道に乗ったら、建物を広げて設備も充実させたいんです。そうしたらもっと幅広くガラス細工がつけられる。」垣内さんはそう語ります。

今年の夏、大阪の阪急百貨店でガラス製品を販売しました。現在では出雲市や松江市へも製品を卸しており、一歩ずつですが販路も拡大していきます。温泉津町で行われた「温泉津秋のやきもの祭り」にも出品され、確かな手ごたえを掴んでいます。少しでも収入を補う為に酒蔵でのお仕事もされており本当にアクティブです！

これから大田でチャレンジを続ける垣内さんから目が離せません。

おおだ空き家情報

令和元年10月1日現在

貸したい！
売りたい！
空き家随時募集中！

空き家情報はおおだの定住PRサイト『どがどが』でご覧いただくことができます。
大田市役所まちづくり定住課 ☎0854-83-8029 にご相談ください。



富山町 売買:200万円

農家住宅です。納屋、牛舎、農業用倉庫が隣接しており、農業や畜産を始めたい方にはオススメです。

【物件番号：120043】



温泉津町 売買:160万円

福光地区の物件です。駅まで1分の立地で海も近いです。駐車場がない為近くで借りる必要があります。

【物件番号：130022】

この情報誌は定住促進を目的に発行しています。

発行/大田市役所政策企画部まちづくり定住課 ☎:0854-83-8029 FAX:0854-82-5885

〒694-0064 島根県大田市大田町大田口 1111 番地 E-mail : o-tiiki@city.ohda.lg.jp https://www.city.ohda.lg.jp/
おおだの定住PRサイト「どがどが」 https://www.teiju-ohda.jp/ どがどが 検索

